

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の不確実性等の懸念がある中、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。また、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済も、先行き不透明であるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性事業の維持・拡大」「女性分野のさらなる強化」「インドネシアを中核にした海外事業の強化」に取り組みました。

なお、第1四半期連結累計期間より、国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除しており、比較を容易にするため、前年同期の売上高を同様の基準で算定した場合の前期比を、以下「実質」として記載しております。

当第2四半期の連結売上高は、実質2.1%増の438億82百万円（前年同期比0.8%減）となりました。主として、男性事業の「ギャツビー」ブランドと女性事業の「ビフェスタ」ブランドが堅調に推移したことによるものであります。

営業利益は、66億32百万円（同7.4%増）となりました。これは主として、効率的なマーケティング活動による販売費の減少によるものであります。その結果、経常利益は71億65百万円（同8.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48億45百万円（同11.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

日本における売上高は286億90百万円（同4.6%増）となりました。これは主として、「ギャツビー」ブランドと「ビフェスタ」ブランドの堅調な推移によるものであります。利益面においては、主として効率的なマーケティング活動に伴う販売費の減少により、営業利益は48億36百万円（同6.5%増）となりました。

インドネシアにおける売上高は実質10.3%減の85億55百万円（同13.4%減）となりました。これは主として、インドネシア国内の売上高が減少したことによるものであります。利益面においては、主として効率的なマーケティング活動による販売費の減少があったことにより、営業利益は6億1百万円（同3.9%減）となりました。

海外その他における売上高は実質10.6%増の66億36百万円（同4.3%減）となりました。これは主として、一部の国を除いて概ね好調に推移したことによるものであります。利益面においては、主として増収効果により、営業利益は11億94百万円（同18.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金が増加したこと等により947億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億7百万円増加いたしました。負債合計は、流動負債のその他に含まれる未払金が増加したこと等により162億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億97百万円減少いたしました。また、純資産合計は、利益剰余金が増加したこと等により784億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億5百万円増加し、自己資本比率は76.6%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ149億91百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には286億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果得られた資金は64億22百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益71億48百万円および減価償却費16億51百万円などによる増加と、法人税等の支払額13億4百万円および未払金の減少額11億60百万円などによる減少であります。

#### ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動の結果得られた資金は108億51百万円となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入168億円などによる増加と、有価証券の取得による支出34億99百万円などによる減少であります。

#### ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動の結果使用した資金は19億85百万円となりました。これは主に、配当金の支払額16億11百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月8日に公表いたしました連結業績予想の変更はありません。